

Ocean's Fukuoka

オーシャンズ・フクオカ



02 | FUKUOKA TOPICS

- PICK UP
- REPORT
- INTERVIEW

06 | FCVB 事業紹介



年頭のご挨拶



福岡観光コンベンションビューロー
会長 谷川 浩道

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の影響が続きました。当財団は打撃を受けた観光・MICEの回復に向けて、様々な取り組みを力強く行ってまいります。

観光振興につきましては、旅行者から選ばれる観光地となるよう、地域の魅力を磨き、新たな体験・滞在型コンテンツを造成するなど、受入環境の充実を図ってまいります。具体的には、福岡型ワーケーション推進による新たな旅のスタイルの普及、修学旅行等による都市圏周遊の推進などに取り組み、訪問客の滞在日数増や回遊促進、消費拡大に繋げてまいります。

今年5月には「世界水泳選手権」が福岡で開催されます。地域の皆様と連携し、来訪者へのおもてなしに取り組むとともに、福岡・九州の魅力を世界に発信することで、国内外からの新たな誘客を目指します。また、この機を捉え、食・体験・サービスなど多様な対応力や情報発信力の向上に努め、今後のインバウンド回復に繋げていきたいと考えています。

MICEでは、コロナ禍で加速したデジタル化によって国際会議等のあり方が変容し、多様化するニーズへの対応が不可欠となりました。昨年加盟の国際ネットワーク「Hybrid City Alliance」等へのリサーチ、市場別戦略による海外商談会、ポストコロナで回復が早いと見込まれる見本市や展示会の誘致、SNS等を活用した情報発信強化に取り組んでまいります。

政府は昨年11月に策定した新たな経済対策で、「GoToキャンペーン」等による段階的な需要喚起策を盛り込んでいます。当財団も、観光・MICEの復活に全力で取り組んでまいります。今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって実り多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



福岡市長
高島 宗一郎

明けましておめでとうございます。新年の始まりにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

2021年は、新型コロナウイルスの影響が続く一年となりましたが、一方で、福岡市はワクチン接種を大都市の中でもトップクラスのスピードで進めることができました。改めて、医療従事者のみなさん、また感染拡大防止にご協力いただいた市民、事業者

のみなさんへ感謝を申し上げます。

今後もコロナの状況には注視が必要ですが、不確実な世の中だからこそ、市民や事業者のみなさんがポジティブなマインドを持てる、そんな2022年になるよう、福岡市も新たなチャレンジを行ってまいります。

まずは、世界水泳選手権がいよいよ福岡で開催されます。観光産業の回復と発展につながるよう、全力で大会を成功へと導きます。また、2023年に開催されるG7サミットの誘致にも名乗りをあげました。高いハードルですが、福岡県、地元経済界と共に全力で挑戦します。

街づくりに関しては、都心部では天神ビックバン、博多コネクティッドにより、新たな雇用やビジネスが生まれることで、夢を叶えることのできる街になっていきます。また、博多部の歴史・伝統・文化を際立たせる「博多旧市街プロジェクト」や身近な自然の魅力を高める「Fukuoka East & West Coastプロジェクト」など、数々のプロジェクトが進行中です。

世界ではウェルビーイング、ダイバーシティ、脱炭素といった要素が意思決定の重要な判断基準となり、あらゆる分野で人や組織の行動変容が起きている。福岡市は、これまでも「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現に向けて取り組んできましたが、今後も世界から尊敬され、多くの観光・ビジネス客に選ばれる都市であり続けるため、「人」、「環境」、「都市活力」をさらに高い次元で調和させ、観光・MICEの振興を推進してまいります。

最後に、皆さまの今年一年のご健勝とご活躍を心から祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。

FUKUOKA TOPICS

福岡観光コンベンションビューロー（FCVB）の賛助会員企業・団体の皆様からの情報提供や、FCVBスタッフの
リサーチによる、観光・MICEに関連したトピックスをご紹介します。

Pick Up ピックアップ

約180の事業者からなる 「TEAM FUK (チーム福岡空港)」が活動を展開中

2020年8月、福岡空港に関わる約180の事業者で構成される「TEAM FUK (チーム福岡空港)」が発足。『いつも、思い出のそばに。』をスローガンとして、CS（顧客満足度）向上を目的とした活動を展開している。

今回は、同プロジェクトを担当する福岡国際空港株式会社プロジェクト推進課の富田一生さんと北絵美さんにお話しを伺った。



—— 「TEAM FUK」では具体的にはどういった活動をされているのですか？

富田 航空機にご搭乗のお客さまに対して、搭乗口及び飛行機の横からお見送りをを行う活動や、周辺環境の美化とクレンリネス（清潔な状態を維持する）意識の向上を目的とした空港周辺の清掃活動などを継続的に行っています。また、より良いサービス提供とCS活動の更なる推進を実現するため、定期的なミーティングや勉強会を開催しています。



—— 活動のなかで印象に残ったエピソードを教えてくださいませんか？

北 「TEAM FUK」の立ち上げに際して、各事業者の皆さまにご説明に回ったとき、各社に共通して、とても好意的な反応だったのが印象的でした。定期的にミーティングを行っておりますが、和気あいあいとした雰囲気、「ともに福岡空港を運営している」という一体感を感じるひとときです。

富田 「TEAM FUK」からお客様へ感謝を伝える『たくさんの「ありがとう」を、ありがとう』編と、お客様へのエールを伝える『さあ、がんばろう。』編の2本の動画を制作しました。その取材や撮影で、業務の現場を訪ねる機会があり、事業者の皆さまの本音や苦勞、そして真摯に仕事と向き合うお姿に出会えたことはとても記憶に残っています。その動画では、空港で働く人たちの『思いのバトン』が見える化でき、ターミナルの一体感を表現できたことと自負しておりますので、ぜひ多くの皆さまにご覧いただきたいですね。

—— 最後に、「TEAM FUK」の今後の取組にあたり、目標や意気込みを教えてくださいませんか？

北 当空港では、2025年までに「5スターエアポート」に認定されることを目標としています。この認定は、航空業界の世界的格付け会社である英国のSKYTRAX社が、500以上のサービス項目の調査に基づいて行うもので、現在、国内の空港では羽田と中部の2空港のみが認定されています。「TEAM FUK」の取組を推進・継続することで、「5スターエアポート」へより近づいていけたらと思います。

富田 「TEAM FUK」の取組について、市民や利用者の皆さまへの認知度向上も目指していきたいと考えています。有意義な時間を過ごす場所としての「福岡空港」の価値を、より多くの皆さまに体感いただけるよう広報活動にも注力していきたいです。

■TEAM FUK (チーム福岡空港) 公式サイト <https://www.fukuoka-airport.jp/teamfuk/>



Report レポート

第27回マグネット技術国際会議 (MT27) 27th International Conference on Magnet Technology

日程:2021年11月15日~19日
会場:福岡国際会議場

(公社)低温工学・超電導学会と日本学術会議の共同主催により、「第27回マグネット技術国際会議」が、25カ国・地域から822名の参加者(うち現地参加者195名)を迎えて、ハイブリッド形式で開催されました。本会議は、マグネット技術分野、特に超電導・低温技術を基盤とした強磁場発生に関するトップカンファレンスで、日本での開催は、18年振り、3回目となります。

開会式では、秋篠宮皇嗣殿下からおことばをビデオメッセージにて賜り、基礎科学の発展や人類が直面する様々な疾病や気候変動など多くの困難な課題解決の観点からも非常に重要な技術領域として、超電導マグネット技術に対する期待について言及いただいたことは、参加者一同にとって望外の喜びとなりました。

また、現地のLive講演とシームレスに融合した仮想会場の構築にも注力し、国境や時差を乗り越え、参加者が対面に近い形で議論や雑談を行える会議フォーマットは、ポストコロナにおける新しい会議形態の可能性も示せたのではないかと思います。

(MT27 現地実行委員会委員長：九州大学主幹教授 木須隆暢)



開会式における秋篠宮皇嗣殿下によるおことばの様子

『福岡キャンピングカーショー2021』開催

コロナ禍においてアウトドアライフ市場が活況を帯びるなか、11月13日(土)・14(日)、マリンメッセ福岡にて、国内最大規模のキャンピングカーショーが開催された。

意匠を凝らした最新のキャンピングカー130台、出展社50社が一同に並んだ会場に、ファミリー層を中心に約1万人が来場。会場で人気を集めていたのが、日常使いもできて価格もお手頃な小型の「軽キャンパー」と呼ばれるタイプのもの。来場者からは、「コロナ対策も徹底されていて安心でした」「たくさんのキャンピングカーを見ることができて、人気のユーチューバーのステージも楽しかった」との声が寄せられた。



カメラライン 大好評・前売り乗船チケット販売中

新型コロナウイルス感染拡大対策として、韓国・中国への旅客運送停止が要請されるなか、カメララインでは、リピーター向けに、運航再開後に利用できる前売り乗船チケットを販売したところ、予想以上の反響となった。今回、「モノ」ではなく「素敵な思い出」の贈り物として最適な「ギフトチケット」の販売を開始した。リピーター以外も購入できる100枚限定のお得なチケットのため、購入はお早めに。詳細・購入はHPを確認を。

※販売価格:20,000円(ペア(2名様分)の往復2等運賃)／
有効期限:運航再開日より6ヶ月間



Interview

インタビュー

福岡観光コンベンションビューローに在席する外国人スタッフに聞く
「How are the SDGs going? (SDGsってどうなの?)」

▶ **ヤナ・シャル** さん (在日フランス商工会議所九州デスク代表・フランス出身)

Q1 フランス人のSDGsへの関心度は?

SDGsというより、“Global Warming(気候温暖化)”への関心が高いと思います。10年ほど前から、姉妹都市のポルドー市などの都心部では、車はNGです。市民は、車の代わりに地下鉄やトラムウェイ、または専用レーンが普及している自転車を利用するようになりました。

プラスチック袋は、20年ほど前から布製のエコバッグに変わり、店ではプラスチック袋を買うこともできません。2022年からは、スーパーマーケットで売られる野菜や果物の多くは「ラップなし」で売るように法律が変わります。



Q2 SDGsで実践していることがありますか?

私と家族の服、おもちゃ、アクセサリ、家具に至るまで、新しいものを買ったことがほとんどありません。祖母や母のお下がりか、中古品を扱っているお店で選びます。

古い物を大切に使い続けて「Eco Friendly」でいることが、とても心地よく感じるので。

Q3 日本(福岡)に来て気が付いたことはありますか?

日本に来て17年になりますが、日本のSDGsの取組は、スローすぎると感じます。フランス人が日本に来ると「Eco Friendly」ではないことにビックリすると思います。古い着物や筆筒などステキなものを捨ててしまうのは、もったいないです。おそらく、捨てる以外の方法がまだない、ということがその要因の一つかもしれません。もし処分しようというときは、近所の外国人に声をかけてみるといいですよ、喜んで引き取ってくれるかもしれませんよ。(笑)

▶ **カール・バーチェッチー** さん (CIR(国際交流員)・アメリカ・ニューヨーク出身)

Q1 ニューヨークのSDGsへの関心度は?

2012年に発生した大型ハリケーン「サンディ」の直撃により、ニューヨーク市内で停電が起きたり、証券取引所が閉鎖されたりと、市民生活に大きな影響もたらされたことをきっかけに、気候変動への関心が高まってきたようです。それまでは身近な課題という認識はなかったものの、実際に被災したことで、「今のままでは、安全な生活は保証されない」という意識が高くなったと思います。

表紙の写真!



秋の雨上がり、福岡空港の滑走路に大きな虹が出現しました。
飛行機にかかるダブルレインボーは非常に珍しく、めったに見られない瞬間を収めた貴重な1枚です。

Q2 SDGsで実践していることがありますか？

個人的には、ゴミの分別や、車の代わりに地下鉄かCity Bikeという自転車を利用することなどを実践しています。

ニューヨークでは、Eco Friendly Planのひとつで“ Toilet Recycling Project” という取組が4年ほど前から始まりました。使われなくなった公衆トイレ器を、浄水用のオイスター養殖に再利用するというもので、以前のようにオイスターが採れるきれいなハドソン川になるように、というリサイクル活動の一環です。



Q3 日本(福岡)に来て気が付いたことはありますか？

ニュー Yorker は、たいてい野心家で“BUSY”な印象を受けることが多いのですが(実際は、いい人もたくさんいます!)、福岡をはじめとする日本の街ではごみは落ちていないし、人々も温かい。アメリカ人にとって、日本は人生で一度は行ってみたい国なのです。

Q4 最後にお気に入りの博多弁を教えてください。

「しえからしか〜」(笑)

▶ 福岡市におけるMICE誘致の取組状況と今後の見通し

昨年末、日本政府観光局(JNTO)は「2020年JNTO国際会議統計」を公表、それによると日本全体の国際会議の開催件数は222件(内福岡市15件)と、前年比94%減という結果でした。

2021年度には、福岡市と当財団は、引き続きハイブリッド会議の促進を図るため、「MICEハイブリッド開催支援・安全対策支援助成金制度」を継続実施しました。また、世界24都市をネットワークする「Hybrid City Alliance」に日本初加入するなど、世界市場での福岡の認知度向上、情報収集と連携を図り、オンラインを活用した誘致活動に取り組みました。

2022年度には、FINA世界水泳選手権の福岡大会をはじめ、大型の学会の福岡開催が予定され、2025年には、JNTO、福岡コンベンションセンターと連携して誘致支援を行った、第27回アジア太平洋リウマチ学会議(APLAR)の開催が決定しています。

当財団では、地元企業さまのご支援の下、今後もハイブリッド開催支援・安全対策支援に注力するとともに、経済効果が見込まれるMICEの誘致に努めてまいります。

※コロナの状況により、日程、開催方法及び参加人数など内容が変更になる場合があります。



2022年度に開催予定の主なMICE

	開始	終了	大会・会議の名称	参加予定人数
2022年度予定の大型MICE	5月13日	5月29日	第19回FINA世界水泳選手権2022福岡大会	来場見込 約40~50万人
	5月31日	6月9日	第19回FINA世界マスターズ水泳選手権2022九州大会	
	8月5日	8月7日	第74回日本産科婦人科学会学術講演会(JSOG2022)	8,000
	10月14日	10月16日	第84回日本血液学会学術集会	6,000
	10月27日	10月30日	第30回日本消化器関連学会週間(JDDW2022)	20,000
	3月16日	3月18日	第20回日本臨床腫瘍学会学術集会	7,000

FCVB 事業紹介

▶ 「賛助会員交流会2021」を開催

12月3日、福岡国際会議場にて「賛助会員交流会2021」を開催しました。当日は、120名の会場参加、100名程度のオンライン参加があり、盛況裡に終えることができました。

PRブースは過去最多となる25団体の出展があり、初の商談マッチング企画では46件のお申込みをいただくなど、活気にあふれた交流の場となりました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様へ、心より御礼申し上げます。今後も、観光・MICEの振興ならびに、会員の皆様へのサービス提供に努めてまいります。



<基調講演>
在福岡米国領事館 首席領事 ジョン・テイラー 氏



▶ 令和3年度観光庁「海外からのインセンティブ旅行誘致に関わるコンベンションビューロー等機能高度化事業」で福岡市が支援対象となりました

2016年の世界のインセンティブ旅行市場は約8.9兆円であり、新型コロナウイルス感染症の影響が無ければ、2020年には、約12兆円に増加すると予測されていました。インセンティブ旅行はリアルな体験にその価値があることから、オンライン等での代替は難しく、アフターコロナにおいてインセンティブ旅行の早期の回復が期待されています。

そのような状況の中、令和3年度観光庁「海外からのインセンティブ旅行誘致に関わるコンベンションビューロー等機能高度化事業」で福岡市が支援対象都市となりました。インバウンドの需要回復期を見据えて、インセンティブ旅行の誘致力強化を目的とする本事業では、福岡市を含む支援対象5都市にインセンティブ旅行誘致に関する高度な知識と経験を有したコンサルタントが派遣され、地元観光資源の視察・講義を含むトレーニングが3回実施されます。既に2回のトレーニングは実施され、一部の講義については賛助会員の皆様にもオンラインで参加いただきました。福岡・九州全体としてインセンティブ旅行誘致の実践的な内容を学び誘致力強化に取り組んでいます。



▲ユニークベニューとして利用可能なポートレース福岡「特別観覧施設ROKU」にて講義を実施



▲視察で八女を訪問

観光案内所のスタッフがリモートでご案内!

福岡市観光案内所(天神・博多駅)等において、遠隔での観光案内のシステムを導入した“新しい観光案内”をスタートしました。

新型コロナウイルス感染症への対応及び新しい観光案内の形として、リモート端末を用いた非対面・非接触で、福岡市観光案内所のスタッフがご案内しています。福岡市でのご観光の際に、一度ご利用されてみませんか。

【端末設置場所】

- ①福岡市観光案内所(天神)(中央区天神 2-1-1 ライオン広場内)
- ②博多駅総合案内所(博多区博多駅中央街 1-1 JR 博多駅構内)
- ③福岡空港国内線ターミナルビル(1階到着口 南案内所付近)
- ④福岡国際会議場1階(博多区石城町2-1)

(設置期間と利用可能時間)2022年3月31日(木)まで(予定) 8:00~19:00





福岡大学病院コンベンションセミナー 開催

11月29日(月)、福岡大学病院の教職員約30名の方にハイブリッド形式でご参加いただき、当財団主催の「福岡大学病院コンベンションセミナー」を開催し、MICE開催状況やコンベンション開催に関する福岡市の支援などについて説明を行いました。

今回会場となった福岡大学病院メディカルホールは、大スクリーンのあるシアター形式の大ホールで、ワンランク上のコンベンションに求められるオンライン会議併催にも対応できる配信設備が整っています。セミナーの中で、オンライン機材の実装と配信中の仕様をモデルケースに、臨場感あるハイブリッド会議の様子をご覧いただきました。



福岡グローバルMICEオンラインスクール 学生186名受講中!

当財団は福岡市と共催で、福岡のMICEを担う人材の育成を目的とした福岡グローバルMICEオンラインスクールを展開しています。昨年秋から本格始動したカリキュラムでは、受講生がアジア太平洋都市サミット・世界水泳選手権福岡大会を軸にMICE(ビジネスイベント)についてオンラインで学んでいます。受講生にとっては、MICE(ビジネスイベント)業界を介して、様々な企業や職種を知ることができ、キャリア形成のきっかけとなる、絶好の機会となっています。



九州大学伊都キャンパスの「MICE相談デスク」を再開

当財団のMeeting Place Fukuoka (MPF)は、九州大学伊都キャンパスのセンター4号館(国際部内)に九州大学教職員の方を対象とする国内外の学会等コンベンションの誘致・開催支援に関する相談窓口を再開しました。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ハイブリッド開催にかかるオンライン配信経費や感染症対策費の助成金受付など、MICE主催者向けワンストップサービスに努めています。



●九大MICE相談デスクのお問合せ先

TEL:092-733-0101

Email:mpf-kd@welcome-fukuoka.or.jp

MPFによるサポート例

- 各種パンフレットの提供
- サポート企業などの紹介
- 観光・視察ツアーのご提案
- 主催者向け助成金の交付
- 外国人参加者への支援(体験プログラム、観光・語学ボランティアの紹介など)

	開始	終了	大会・会議の名称	参加地区	参加人数	開催会場	事務局・問合せ先	☎
学術大会	1月29日	1月29日	第336回日本内科学会九州地方会 第72回九州支部主催生涯教育講演会	九州	100	九州大学医学部百年講堂 (ハイブリッド開催)	主催事務局:九州大学大学院医学研究 院神経内科学 運営事務局:㈱インターグループ九州支社	092-712-9530
	1月29日	1月30日	第61回日本心身医学会九州地方会	九州	—	九州がんセンター (ハイブリッド開催)	大会事務局:九州がんセンター サイコオンコロジー科	092-541-3231
	2月12日	2月13日	福岡県“One Health”国際フォーラム2022	国際	1,000	福岡アイランドシティ フォーラム	主催:福岡県“One Health”国際 フォーラム実行委員会	092-643-3622
	2月12日	2月13日	第5回日本子宮鏡研究会学術集会	全国	50	福岡国際医療福祉大学 (ハイブリッド開催)	日本子宮鏡研究会事務局	0944-87-0001
	2月26日	2月26日	第8回九州足の外科研究会	全国	100	福岡大学病院 福大メディカルホール	福岡歯科大学 総合医学講座 整形 外科学分野内 九州足の外科研究会	092-801-0411
	3月 7日	3月 9日	第95回日本薬理学会年会	全国	2,500	福岡国際会議場 福岡サンパレス&ホール	年会事務局:鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 生体情報薬理学 運営事務局:㈱コンプレ九州支社	092-716-7116
	3月14日	3月19日	第69回日本生態学会大会(ESJ69)	全国	1,000	福岡国際会議場 (ハイブリッド開催)	主催:(一社)日本生態学会	075-384-0250
	3月19日	3月19日	第88回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会九州支部春 季学術講演会	九州	200	アクロス福岡	学会事務局:福岡大学筑紫病院 呼吸器内科 運営事務局:日本コンベンション サービス(株)九州支社	092-712-6201
	3月25日	3月27日	難治性てんかん国際シンポジウム	国際	300	福岡大学	学会事務局:福岡大学医学部小児科 運営事務局:㈱JTBコミュニケーションデザイン	092-751-3244
	4月11日	4月15日	第37回国際高分子加工学会国際会議 (PPS-37)	国際	450	福岡国際会議場	運営事務局:㈱近畿日本ツーリスト コーポレートビジネス	—
展示イベント	4月21日	4月23日	第76回NPO法人日本口腔科学学会 学術集会	全国	1,000	福岡国際会議場	大会事務局:九州大学大学院歯学研 究院 口腔顎顔面病態学講座 顎顔 面腫瘍制御学分野 運営事務局:㈱コンプレ九州支社	092-716-7116
	2月 7日	2月 8日	ビューティーワールドジャパン福岡	全国	5,000	福岡国際センター	ビューティーワールドジャパン事務局 (メッセフランクフルト ジャパン(株))	050-3738-4675
	2月12日	2月13日	九州旅行博覧会 ～トラベラーズフェス2022～	九州	10,000	福岡国際センター (ハイブリッド開催)	九州旅行博覧会2022出展事務局	092-844-8837
	4月 8日	4月10日	桜タンゴフェスティバル in 福岡 2022	全国	500	未定	ティエンボ・イベロアメリカノ	092-762-4100

※賛助会員の方は、上記記載以外及び1月以降のスケジュールも当財団のホームページで閲覧いただけます。
※コロナの状況により、日程、開催方法及び参加人数など内容が変更になる場合があります。

新賛助会員様ご紹介

問合せ先: ☎092(733)5050 **会費 年間1口2万円から**
新たにご入会いただきました。(順不同・敬称略) 皆様のご入会をお待ちしております

イコールワン福岡SUNS

811-0117 福岡市早良区室見4-10-12 ☎092-600-4838

イコールワン福岡SUNSは「Xリーグ(日本のトップリーグ)」に所属し、福岡を拠点とするアメリカンフットボールチーム。地方チームの先駆けとなり、日本のアメリカンフットボールの未来を照らす存在になりたいという想いで「SUNS(太陽)」と命名。

株式会社PLANDO

811-2413 糟屋郡篠栗町尾仲444-1-306 ☎092-692-4120

日本を象徴する文化の一つでもある「忍者」。迫力満点の「忍者ショー」はもちろん、忍者体験として「手裏剣」や「殺陣」の体験。また、「忍者服」を着て忍者になりきっての忍者修行の体験も行えます。忍者になって日本の文化を感じてみませんか?

学校法人大村文化学園

810-0055 福岡市中央区黒門4-41 ☎092-721-1720

当社のグローバルビジネス科は留学生に日本のビジネスを教え、ホテルや貿易、一般ビジネスの企業に就職をすることを目標にしています。現在、アジア諸国の450名の外国人が在籍しておりますので、外国人材で役に立てることがあれば気軽にご連絡ください。

福岡音楽都市協議会

812-0027 福岡市博多区下川端町3-1リブレインセンタービル8F ☎092-263-6264

福岡を日本・アジアを代表する音楽都市にすることを目標に2021年4月に設立された任意団体です。音楽を関連産業や観光、まちづくりの観点から活用・振興を図るため、音楽関連の事業者などの様々な立場の人が横断的に交流・育成を行う組織となります。

株式会社ジャパンニュースアドバンス

812-0013 福岡市博多区博多駅東1-19-16 ☎092-481-6554

福岡県を中心に九州一円と山口・島根へのナショナルコンビニエンスストア(セブンイレブン等)への新聞・雑誌・情報誌・フリー誌等の直接流通運輸事業。1日130便、365日3400店舗への輸送。

賛助会員の皆さまを対象とした「5Gセミナー」を開催しました

11月10日、西鉄薬院駅ビルにある「ドコモ5Gオープンラボ FUKUOKA」にて「5Gセミナー」を開催しました。ラボでは、タブレット端末を活用した観光ガイド、ARスマートグラスを使用した遠隔サポート、VRスポーツ体感などを実機でお試しいただけ、参加者の皆様は楽しそうに触れられていました。今後も、会員様同士で交流できる機会を増やしていきたいと思っておりますので、次回の開催をお楽しみに!



「福岡検定」受験申込受付期間は令和4年1月24日まで! お早めにお申し込みください。

今年もオンラインで実施される「福岡検定」はいよいよ1月30日(日)開催!
受験申込受付期間は令和4年1月24日まで。皆様のチャレンジをお待ちしています!

- 受験申込受付期間
受付中～令和4年1月24日(月)まで
- 試験日
令和4年1月30日(日)

最新情報は「福岡検定」公式サイト・SNSで随時発信します。
※公式サイト <https://fukuokakentei.com/>
※SNS (Facebook、Twitter) @fukuokakentei



Ocean's Fukuoka

オーシャンズ・フクオカ



02 | FUKUOKA TOPICS

- PICK UP
- REPORT
- INTERVIEW

06 | FCVB 事業紹介



年頭のご挨拶



福岡観光コンベンションビューロー
会長 谷川 浩道

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の影響が続きました。当財団は打撃を受けた観光・MICEの回復に向けて、様々な取り組みを力強く行ってまいります。

観光振興につきましては、旅行者から選ばれる観光地となるよう、地域の魅力を磨き、新たな体験・滞在型コンテンツを造成するなど、受入環境の充実を図ってまいります。具体的には、福岡型ワーケーション推進による新たな旅のスタイルの普及、修学旅行等による都市圏周遊の推進などに取り組み、訪問客の滞在日数増や回遊促進、消費拡大に繋げてまいります。

今年5月には「世界水泳選手権」が福岡で開催されます。地域の皆様と連携し、来訪者へのおもてなしに取り組むとともに、福岡・九州の魅力を世界に発信することで、国内外からの新たな誘客を目指します。また、この機を捉え、食・体験・サービスなど多様な対応力や情報発信力の向上に努め、今後のインバウンド回復に繋げていきたいと考えています。

MICEでは、コロナ禍で加速したデジタル化によって国際会議等のあり方が変容し、多様化するニーズへの対応が不可欠となりました。昨年加盟の国際ネットワーク「Hybrid City Alliance」等へのリサーチ、市場別戦略による海外商談会、ポストコロナで回復が早いと見込まれる見本市や展示会の誘致、SNS等を活用した情報発信強化に取り組んでまいります。

政府は昨年11月に策定した新たな経済対策で、「GoToキャンペーン」等による段階的な需要喚起策を盛り込んでいます。当財団も、観光・MICEの復活に全力で取り組んでまいります。今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって実り多き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



福岡市長
高島 宗一郎

明けましておめでとうございます。新年の始まりにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

2021年は、新型コロナウイルスの影響が続く一年となりましたが、一方で、福岡市はワクチン接種を大都市の中でもトップクラスのスピードで進めることができました。改めて、医療従事者のみなさん、また感染拡大防止にご協力いただいた市民、事業者

のみなさんへ感謝を申し上げます。

今後もコロナの状況には注視が必要ですが、不確実な世の中だからこそ、市民や事業者のみなさんがポジティブなマインドを持てる、そんな2022年になるよう、福岡市も新たなチャレンジを行ってまいります。

まずは、世界水泳選手権がいよいよ福岡で開催されます。観光産業の回復と発展につながるよう、全力で大会を成功へと導きます。また、2023年に開催されるG7サミットの誘致にも名乗りをあげました。高いハードルですが、福岡県、地元経済界と共に全力で挑戦します。

街づくりに関しては、都心部では天神ビックバン、博多コネクティッドにより、新たな雇用やビジネスが生まれることで、夢を叶えることのできる街になっていきます。また、博多部の歴史・伝統・文化を際立たせる「博多旧市街プロジェクト」や身近な自然の魅力を高める「Fukuoka East & West Coastプロジェクト」など、数々のプロジェクトが進行中です。

世界ではウェルビーイング、ダイバーシティ、脱炭素といった要素が意思決定の重要な判断基準となり、あらゆる分野で人や組織の行動変容が起きている。福岡市は、これまでも「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現に向けて取り組んできましたが、今後も世界から尊敬され、多くの観光・ビジネス客に選ばれる都市であり続けるため、「人」、「環境」、「都市活力」をさらに高い次元で調和させ、観光・MICEの振興を推進してまいります。

最後に、皆さまの今年一年のご健勝とご活躍を心から祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。